



2018年度第3四半期 決算説明資料

2019年2月6日

三菱重工業株式会社

目次

I. 2018年度第3四半期 決算実績

・決算実績ハイライト	3
・連結経営成績サマリー	4
・定常収益	5
・セグメント別内訳	6
・連結財政状態	7
・主要財務指標／キャッシュ・フロー	8

セグメント情報

・受注高・受注残高	9
・売上収益	10
・事業利益	11

II. 2018年度業績見通し

・業績見通しサマリー	13
・定常収益	14
・セグメント別内訳	15

III. 補足資料

16-20

当社グループは、2018年度より国際会計基準(IFRS)を適用しています。
このため、2017年度第3四半期および2017年度の財務数値についても、
IFRSに準拠して表示しています。

I . 2018年度第3四半期決算実績

第3四半期決算実績 ハイライト

- 定常収益は堅調に推移(MRJ開発投資も計画内で進行中)
(事業利益1,834億円(利益率6.3%)／親会社の所有者に帰属する当期利益1,124億円(同3.9%))
→P5(定常収益)
- 受注高はパワーの大型石炭火力案件取り消し等の影響により減少
インダストリー&社会基盤および航空・防衛・宇宙は増加
(パワー:前年同期比△2,580億円／インダストリー&社会基盤:同+1,604億円
／航空・防衛・宇宙:同+319億円)
→P6(実績セグメント別内訳)、P9(セグメント別受注高・受注残高)
- 事業利益は全セグメントで増加
(パワー:前年同期比+333億円／インダストリー&社会基盤:同+113億円
／航空・防衛・宇宙:同+6億円)
→P6(実績セグメント別内訳)、P11(セグメント別事業利益)
- 財政状態は堅調
フリーキャッシュフローは改善(前年同期比+1,237億円)、
有利子負債は第3四半期末として過去最低水準(9,972億円)
→P7(連結財政状態)、P8(主要財務指標／キャッシュ・フロー)
- パワーの受注高減少、インダストリー&社会基盤(受注品)の案件動向等を踏まえ、受注高の通期見通しを従来の41,000億円から38,000億円に見直し
(パワー:15,000億円→13,000億円／インダストリー&社会基盤:19,500億円→18,500億円)
→P13(業績見通し)
- 年間配当は130円の予定を維持(前年度比10円増配)
→P13(業績見通し)

(単位:億円)

	2017年度3Q累計 (利益率)		2018年度3Q累計 (利益率)		増減 (増減率)	
受注高		25,757		24,793	△ 964	(△3.7%)
売上収益		28,447		28,992	+545	(+1.9%)
事業利益	(2.0%)	569	(3.6%)	1,053	+484	(+85.1%)
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(0.0%)	11	(1.2%)	353	+341	(32倍)
EBITDA	(6.4%)	1,828	(6.9%)	2,007	+178	(+9.8%)
フリーCF		△2,782		△1,544	+1,237	-

(単位: 億円)

2018年度3Q累計	定常収益 (利益率)	MRJ投資	合計 (利益率)
受注高	24,793	—	24,793
売上収益	28,992	—	28,992
事業利益	(6.3%) 1,834	△781	(3.6%) 1,053
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(3.9%) 1,124	△771	(1.2%) 353
EBITDA	(9.6%) 2,788	△781	(6.9%) 2,007
フリーCF	△686	△857	△1,544

第3四半期決算実績 連結経営成績 セグメント別内訳

(単位: 億円)

	受注高			売上収益			事業利益		
	'17年度 3Q累計	'18年度 3Q累計	増減	'17年度 3Q累計	'18年度 3Q累計	増減	'17年度 3Q累計	'18年度 3Q累計	増減
パワー	10,145	7,565	△ 2,580	9,792	10,612	+819	459	793	+333
インダストリー& 社会基盤	12,077	13,681	+1,604	13,484	13,718	+234	420	534	+113
航空・防衛・宇宙	3,495	3,815	+319	5,230	4,881	△ 349	△ 326	△ 319	+6
その他	878	530	△ 347	849	519	△ 329	52	64	+12
消去または共通	△ 839	△ 799	+40	△ 910	△ 739	+170	△ 37	△ 19	+18
合計	25,757	24,793	△ 964	28,447	28,992	+545	569	1,053	+484

第3四半期決算実績 連結財政状態

(単位:億円)

	‘17年度末	‘18年度3Q末	対前年度末 増減
売上債権(営業債権、契約資産)	15,046	14,591	△454
棚卸資産	7,485	8,375	+889
その他流動資産	※ 9,877	※10,292	+414
固定資産	9,977	9,764	△213
投資等	10,100	9,674	△426
資産合計	52,487	52,697	+210
営業債務	8,011	7,565	△446
契約負債	9,146	8,658	△488
その他	10,258	9,585	△673
有利子負債	8,131	9,972	+1,841
資本	16,938	16,915	△23
(うち親会社の所有者に帰属する持分)	(13,955)	(13,803)	(△151)
負債・資本合計	52,487	52,697	+210

※ 南アフリカプロジェクトに係る資産を含む
 ‘17年度末 : 4,459億円
 ‘18年度3Q末 : 4,979億円
 (‘18年度2Q末 : 4,975億円)

借入金 △308
 コマーシャルペーパー +2,450
 社債 △300

配当 △419
 四半期利益 +353
 その他の包括利益 △165 他
 (その他有価証券評価差額金等)

主要財務指標

	‘17年度末	‘18年度 3Q末	対前年度末 増減	‘18年度 見通し
自己資本比率	26.6%	26.2%	△ 0.4pt	—
有利子負債残高 (単位:億円)	8,131	9,972	+1,841	7,700
D/Eレシオ	0.48	0.59	+0.11	—

キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	‘17年度 3Q累計	‘18年度 3Q累計	増減	‘18年度 見通し
営業CF	△ 160	△ 307	△ 146	—
投資CF	△ 2,621	△ 1,237	+1,384	—
フリーCF	△ 2,782	△ 1,544	+1,237	1,000

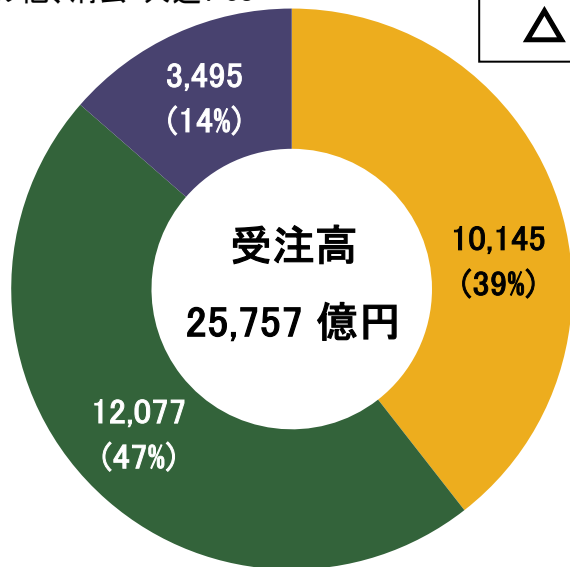
第3四半期決算実績 セグメント別 <受注高・受注残高>

2017年度3Q累計

その他、消去・共通: 38

受注高

△964億円

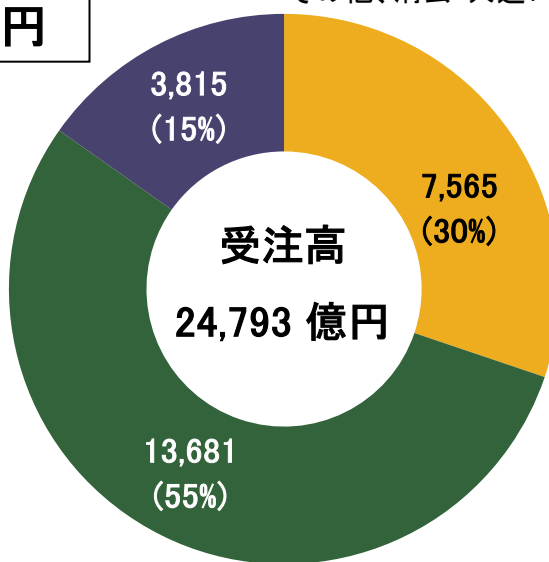


2018年度3Q累計

その他、消去・共通: △268

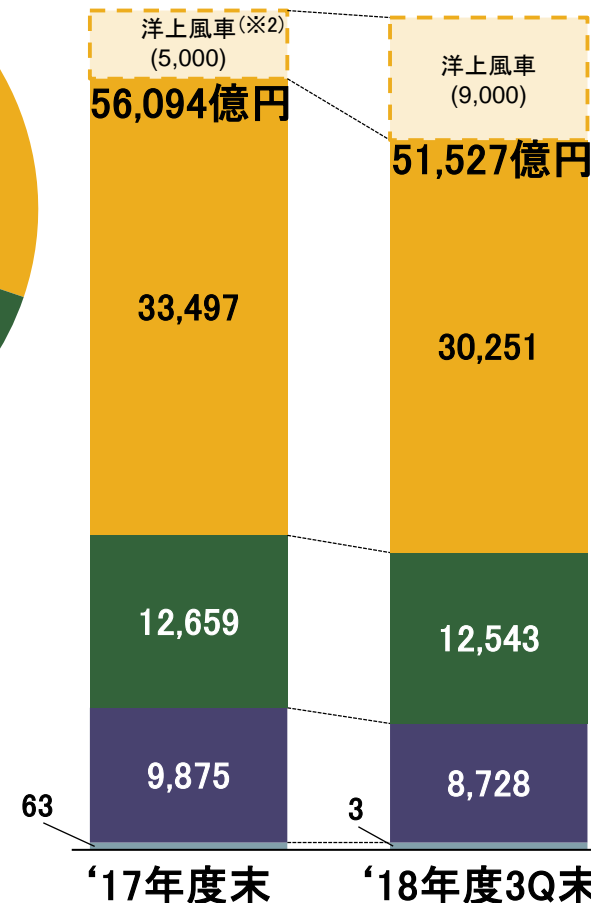
受注高

△964億円



受注残高

△4,567億円



- パワー
- インダストリー&社会基盤
- 航空・防衛・宇宙
- その他、消去・共通

■ パワー

増加: GTCC_(※1)、コンプレッサ
 減少: スチームパワー
 (コンベンショナル火力)

■ 航空・防衛・宇宙

増加: 艦艇、防衛航空機
 減少: 民間航空機

■ インダストリー&社会基盤

増加: 商船、化学プラント、製鉄機械

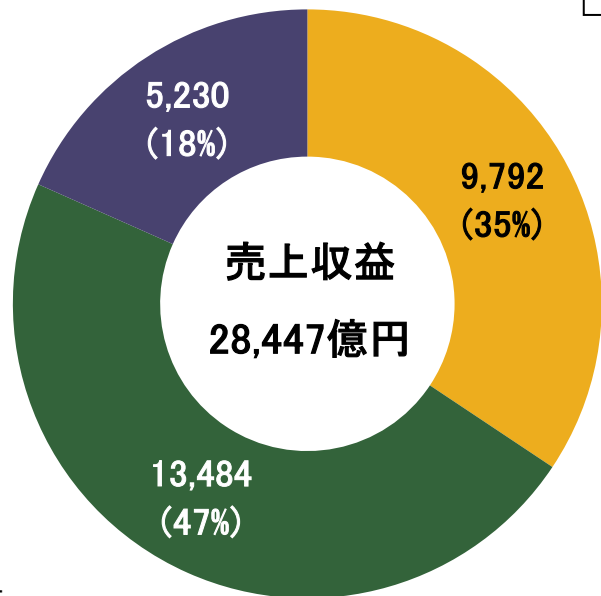
(※1) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

(ターボチャージャ、空調機等の量産品は含まない)
 (※2) 持分法適用会社(MHI Vestas Offshore Wind A/S)による事業であるため、概数を受注残高合計の外数として表示

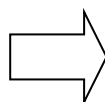
第3四半期決算実績 セグメント別 <売上収益>

2017年度3Q累計

その他、消去・共通: $\Delta 60$

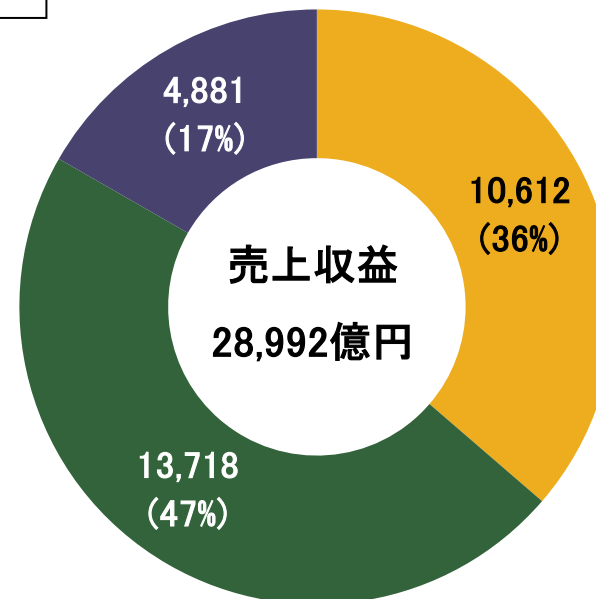


+545億円



2018年度3Q累計

その他、消去・共通: $\Delta 219$



■ パワー

増加: 原子力、GTCC、航空エンジン

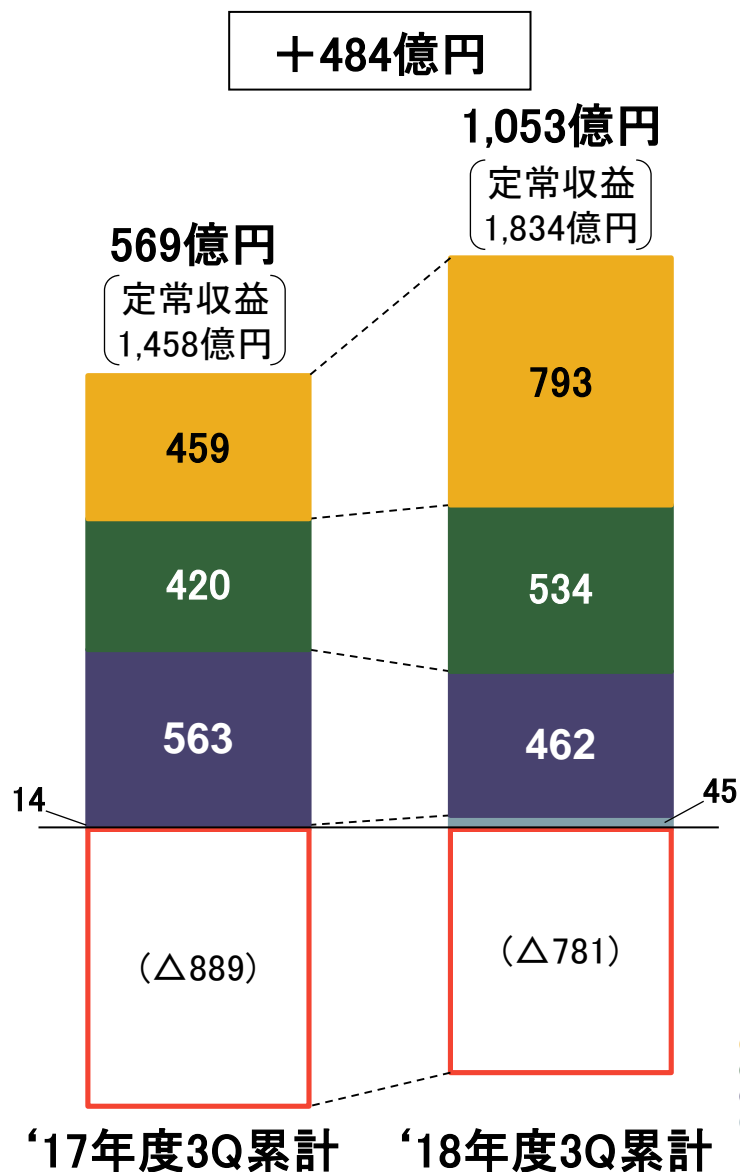
■ インダストリー&社会基盤

増加: 製鉄機械、物流機器

減少: 化学プラント、交通システム

■ 航空・防衛・宇宙

減少: 民間航空機、飛昇体



- **パワー**
 [増益]
 原子力、GTCC: 売上増加 他

- **インダストリー&社会基盤**
 [増益]
 物流機器: 売上増加 他

- **航空・防衛・宇宙**
 [減益]
 民間航空機: 売上減少 他

Ⅱ. 2018年度業績見通し

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、この業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、当社グループの事業領域をとりまく経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

2018年度業績見通し サマリー

(単位:億円)

	2017年度実績 (利益率)	2018年度		対前年度増減 (増減率)	
		今回見通し (利益率)	前回見通し (2018年10月31日)		
受注高	38,687	38,000	41,000	△ 687	(△1.8%)
売上収益	40,856	42,000	42,000	+1,143	(+2.8%)
事業利益	(1.4%) 581	(3.8%) 1,600	1,600	+1,018	(+175.0%)
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△73	(1.9%) 800	800	+873	-
ROE	△0.5%	6%	6%	-	
EBITDA	(5.7%) 2,319	(7.6%) 3,200	3,200	+880	(+38.0%)
フリーCF	1,675	1,000	1,000	△675	-
配当 (株式併合後換算、 1株あたり)	(※) 120円 (中間60円/期末60円)	130円 (中間65円/期末65円)			

【未確定外貨】

4億ドル

4億ユーロ

【前提為替レート】

1ドル = 110円

1ユーロ = 130円

第3四半期末までの動向を踏まえ、受注高のみ前回公表値(2018年10月31日)を見直し

(※) 当社は、2017年10月1日付で株式併合(10株→1株)を実施しました。2017年度の中間配当は1株あたり6円ですが、本資料上は配当予想との比較のため、当該株式併合実施後の配当金に換算して記載しています。

2018年度業績見通し 定常収益

(単位: 億円)

2018年度見通し	定常収益		MRJ投資	合計
	今回見通し (利益率)	前回見通し (2018年10月31日)		
受注高	38,000	41,000	-	38,000
売上収益	42,000	42,000	-	42,000
事業利益	(6.0%) 2,500	2,500	△900	(3.8%) 1,600
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(4.0%) 1,700	1,700	△900	(1.9%) 800
ROE	12%	12%	-	6%
EBITDA	(9.8%) 4,100	4,100	△900	(7.6%) 3,200
フリーCF	2,200	2,200	△1,200	1,000

- 定常収益におけるTOP_(※1)比… 1 : 1.2 : 0.7
(売上…4.2兆円、総資産…5.1兆円、時価総額…2.8兆円_(※2))

(※1) TOP: Triple One Proportion(売上:総資産:時価総額=1:1:1とする経営目標)

(※2) 時価総額は親会社の所有者に帰属する当期利益の16.7倍(資本コスト:6%)として算定

2018年度業績見通し セグメント別内訳

(単位: 億円)

	受注高				売上収益				事業利益			
	'17年度 実績	'18年度		対前年度 増減	'17年度 実績	'18年度		対前年度 増減	'17年度 実績	'18年度		対前年度 増減
		今回 見通し	前回見通し (10月31日)			今回 見通し	前回見通し (10月31日)			今回 見通し	前回見通し (10月31日)	
パワー	14,375	13,000	15,000	△ 1,375	14,824	16,000	16,000	+1,175	849	1,350	1,350	+500
インダストリー& 社会基盤	17,113	18,500	19,500	+1,386	18,900	19,000	19,000	+99	410	800	800	+389
航空・防衛・宇宙	7,146	6,500	6,500	△ 646	7,183	7,000	7,000	△ 183	△ 635	△ 450	△ 450	+185
その他	1,135	1,000	1,000	△ 135	1,207	1,200	1,200	△ 7	34	50	50	+15
消去または共通	△ 1,083	△ 1,000	△ 1,000	+83	△ 1,259	△ 1,200	△ 1,200	+59	△ 77	△ 150	△ 150	△ 72
合計	38,687	38,000	41,000	△ 687	40,856	42,000	42,000	+1,143	581	1,600	1,600	+1,018

パワー、インダストリー&社会基盤の受注高を前回公表値(2018年10月31日)から見直し

Ⅲ. 補足資料

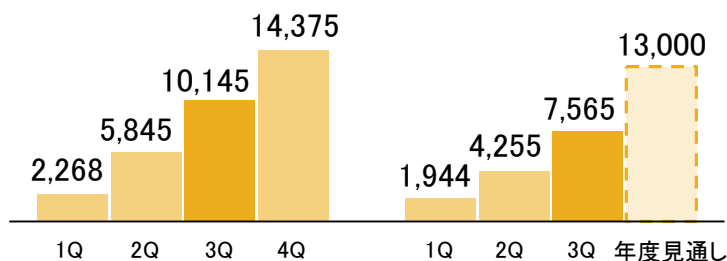
補足資料① 第3四半期決算実績 <パワー>

(億円、各期の数値は累計)

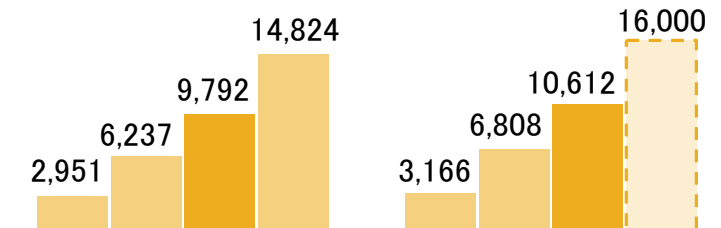
2017年度

2018年度

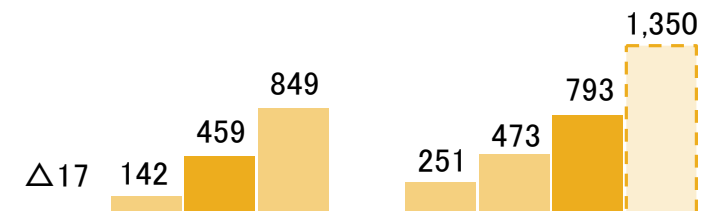
受注



売上



事業利益



受注 : 対前年同期△2,580億円の減少

増加…GTCC^(※)、コンプレッサ

減少…スチームパワー(コンベンショナル火力)

(※) GTCC: Gas Turbine Combined Cycle

【ガスタービン受注台数】

2017年度3Q累計 : 6台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	-	2	-	2	4
中小型	-	-	1	1	2
合計	0	2	1	3	6

2018年度3Q累計 : 14台

	北米	アジア	国内	その他	合計
大型	1	4	-	-	5
中小型	6	2	1	-	9
合計	7	6	1	0	14

【ガスタービン契約残台数】

	大型	中小型	合計
2017年度3Q末	37	8	45
2017年度末	38	6	44
2018年度3Q末	35	10	45

売上 : 対前年同期+819億円の増収

増加…原子力、GTCC、航空エンジン

損益 : 対前年同期+333億円の増益

増益…原子力、GTCC:売上増加 他

年度見通し

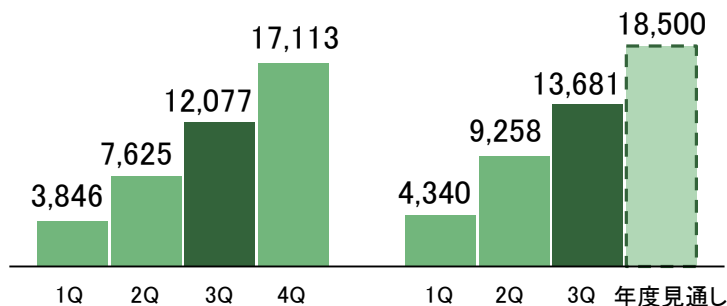
受注 : 15,000億円から13,000億円へ変更

(億円、各期の数値は累計)

2017年度

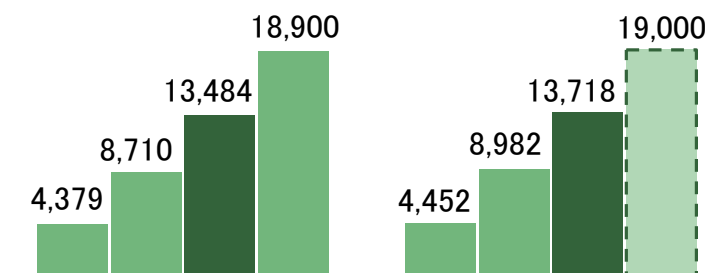
2018年度

受注



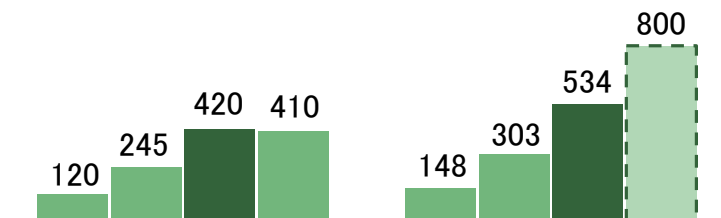
受注 : 対前年同期+1,604億円の増加
増加…商船、化学プラント、製鉄機械

売上



売上 : 対前年同期+234億円の増収
増加…製鉄機械、物流機器
減少…化学プラント、交通システム

事業利益



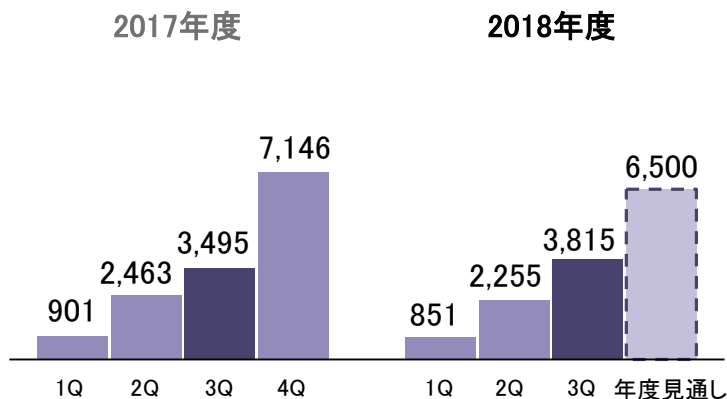
損益 : 対前年同期+113億円の増益
増益…物流機器: 売上増加 他

年度見通し

受注 : 19,500億円から18,500億円へ変更

(億円、各期の数値は累計)

受注



受注 : 対前年同期+319億円の増加

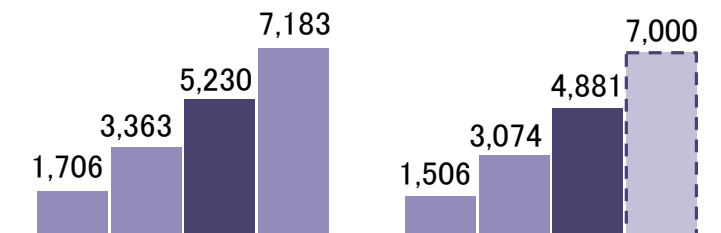
増加…艦艇、防衛航空機

減少…民間航空機

【MRJ 累計受注機数】(2019年2月6日現在)

387機 (確定 213機、オプションおよび購入権 174機)

売上



売上 : 対前年同期△349億円の減収

減少…民間航空機、飛昇体

【B777/B777X 引渡機数】

‘17年度(実績) : 58機 (1Q:17機、2Q:15機、3Q:16機、4Q:10機)

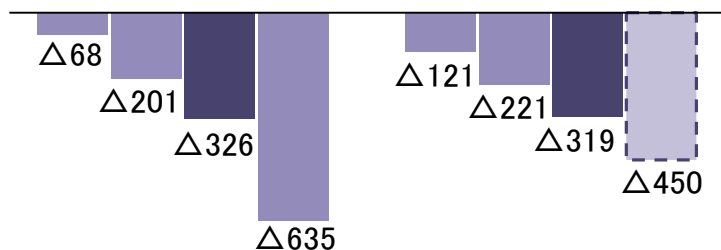
‘18年度(見通し) : 48機 (1Q:11機、2Q:11機、3Q:11機、4Q:15機[予定])

【B787 引渡機数】

‘17年度(実績) : 141機 (1Q:36機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:36機)

‘18年度(見通し) : 148機 (1Q:37機、2Q:36機、3Q:33機、4Q:42機[予定])

事業利益



損益 : 対前年同期+6億円の増益

減益…民間航空機: 売上減少 他

年度見通し

変更なし

補足資料② 参考データ

1. 研究開発費、減価償却費、設備投資

(単位: 億円)

	'17年度 3Q累計	'18年度 3Q累計	'18年度 見通し
研究開発費	1,029	976	1,800
減価償却費	1,259	953	1,600
設備投資	1,063	891	1,600

2. 販売費及び一般管理費

(単位: 億円)

	'17年度 3Q累計	'18年度 3Q累計
販管費	3,941	3,935

3. 為替レート(売上計上平均レート)

	'17年度 3Q累計	'18年度 3Q累計
USD(円/USD)	111.7	110.7
ユーロ(円/ユーロ)	126.8	129.4

4. 海外地域別売上収益

(単位: 億円)

	'17年度3Q累計	'18年度3Q累計
アジア	4,984 (18%)	5,433 (19%)
北米	4,876 (17%)	4,741 (17%)
欧州	2,929 (10%)	3,015 (10%)
中南米	1,135 (4%)	1,006 (3%)
中東	1,100 (4%)	952 (3%)
アフリカ	661 (2%)	721 (2%)
オセアニア	228 (1%)	199 (1%)
合計	15,916 (56%)	16,070 (55%)

※ ()内は構成比

MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**